

○造幣局次長歐米八國巡回見聞概記

○造幣局位置沿革

英吉利國造幣局ハ其設立ノ年月ヲ詳ニセサレ
年數百年間倫敦城^{ロンドン}ノ内ニアリシヲ千八百十
年^{一八一七}ニ移轉シ今ノ位置ヲ爲セリ之ヨ
リ先キ英蘭土愛蘭土蘇蘭土ノ首府及ヒ名邑ニ
ハ各造幣場アリシカ漸次廢止スル所トナル其
後千八百五十三年濠洲^{オーストラリア}ニ
九年同洲メルボルン府ニ各造幣支局ヲ新設シ倫
敦本局ノ管理ニ屬セシムルト云フ
北米合衆國造幣局ハ本國獨立ノ後千七百九十
二年創メテ當時ノ首府ヒラデルヒヤ第七街ニ

設置シ千八百二十九年之ヲチエストノット街ニ
 改築ス現今ノ造幣局是ナリ而シテ千八百三十
 五年ニウオルリンスニ千八百三十八年チヤ
 ーロットニ千八百五十二年桑港ニ千八百六十
 年カルソンシチーニ各造幣局ヲ増設ス其他紐
 育デンバーボイスチー等ニ於テ試金局アリ
 皆ナ華盛頓大藏省造幣事務局總裁ノ管理ニ屬
 ス
 佛蘭西國造幣局ハ千七百七十一年巴里ニ創置
 シ其後千八百三十二年ニ賞牌局ヲ之レニ合併
 セリ千八百五十二年以降六七年間銅貨改鑄ノ
 際ハリオンポルドー等七ヶ所ニ造幣局アリシ

カ千八百五十八年後漸次之ヲ廢撤シ現今ハ只
 巴里府ノ一ヶ所ニ止ルト云フ
 白耳義國造幣局ハ國內只一ヶ所ニシテ古來
 ラセルス府中央ノ地ニアリシカ千八百八十年
 同府サンジレ一區ニ改築ス今ノ造幣局是レナ
 リ其建築ノ費殆ント三百萬法ヲ費セリト云フ
 而シテ構造ノ美麗ナル工場ノ配置宜ヲ得タル
 機械ノ能ク整頓セル等甚タ觀ルヘキモノアリ
 以太利國造幣局ハ現今羅馬美蘭ノ二ヶ所ニア
 リ往時ハ國內分裂小邦各處ニ割據シ通貨亦隨
 テ種々ナリシ當時全國ノ造幣局ヲ通算スレハ
 其數甚タ多シ羅馬造幣局ハ千八百七十年迄法

王政府ノ造幣局タリシ所ニシテ其ノ規模狹小
 美蘭ノ造幣局ハ澳國女帝マリアテレシヤノ時
 ノ建築ニ係リ各室ノ配置ハ稍々羅馬ノモノニ
 勝レリ
 澳地利國造幣局ハ往昔數ヶ所ニ散在セシカ漸
 次廢止シ現今ハ澳國維也納及ヒ匈牙利プタベ
 ストニアリ然レモ匈牙利澳地利ハ各其内治ノ
 政ヲ異ニスルヲ以テ造幣局亦互ニ關係ヲ有セ
 スシテ單ニ同種ノ貨幣ヲ鑄造スルノミ維也納
 造幣局ハ千八百三十七年ノ建築ニシテ規模甚
 タ宏大ナリ
 獨逸國ハ帝國設立ノ造幣局ヲ置カス唯聯邦各

自ニ造幣局ヲ置ク現今ハ普魯西國柏林ババリ
 ヤ國ミユンヘンサクセン國フライベルグウル
 テンホルグ國ストットカルトバーデン國カール
 スルーヘ及ヒハンブング自由市都ノ六ヶ所ト
 ス
 露西亞國造幣局ハ往昔モスコイ府エカテリン
 プルグ其他六ヶ所ニ設置アリシモ漸次廢止シ
 テ千八百七十五年ニハ僅ニ聖彼得堡ノ一ヶ所
 アルニ及ヘリ此造幣局ハ千七百二十六年「ペ
 トルパウル」城砦中ノ一倉庫ヲ本據トナシ造幣
 セシモノナリ又露國藩屏フィンランド國ヘル
 シンフョルトニ一ノ造幣所アレモ聖彼得堡ノ

造幣局ト關係ナシ

○貨幣制度

英國ノ貨幣制度ハ千八百十六年ニ於テ金貨單
本位ノ制ヲ定メ千八百六十年銅貨幣ヲ改メテ
青銅貨幣トナス而シテ現行ノ貨幣條例ハ千八
百七十年ノ發布ニ係リソノ金貨ノ品位ハ二十
四分ノ二十二即チ千分中九百十六六六ナリ該
品位ノ金地金量目貳拾磅ヲ以テソヴエレン貨
九百三拾四個半ヲ製スヘシ銀貨ノ品位ハ四十
分ノ三十七即千分中九百二十五ナリ茲ニ貨幣
ノ名稱ヲ擧クレハ本位貨幣ヲソヴエレント稱
シ之ニ對スル價格ヲ一磅ト云フ之ヲ二十分シ

タルヲ「シルリング」ト云ヒ又十二分「タル」ト云
ンニ「ト」云フ又四分「タル」ヲ「フアイジ」ト云
フ金貨ハ五磅ヨリ半磅ニ至リ凡テ四種アリ銀
貨ハ五志ヨリ壹片ニ至リ凡テ十種アリ青銅貨
ハ一片ヨリ「フアイジ」ニ至ル凡テ三種アリ其
流通制限ハ銀貨ハ四十志以下青銅貨ハ一志以
下ナリ
合衆國ノ貨幣制度ハ金銀兩本位ナリ而シテ金
ハ公衆ノ需ニ應シ之カ鑄造ヲ爲セトモ銀ハ唯
政府ニ於テ地金ヲ買入レ之ヲ鑄造スルノミ本
位貨幣ノ比例ハ金一銀拾六ニ當ル金銀貨幣共
品位ハ千分中九百ニシテ元位「ドル」ト稱

シ之ヲ百分シテセントト稱ス即九百位金二十
 五「グレイン」十分ノ八又九百位銀四百十二「グレ
 イン」半ヲ以テ一「ドル」ラルトス金貨ニハ一「ドル
 ラル」ヨリ二十「ドル」迄凡テ六種アリ銀貨ニ
 ハ三「セント」ヨリ一「ドル」迄凡テ八種アリ又
 白銅青銅ノ貨幣ニテ一「セント」ヨリ五「セント」迄
 凡テ四種アリ五十「セント」以下ハ皆補助貨幣ニ
 シテ其流通制限ハ小銀貨ハ五「ドル」以下ト
 シ銅貨ハ二十五「セント」以下トス
 佛國貨幣制度ハ革命第三年ノ法律ヲ以テ九百
 位銀五「グラム」ヲ貨幣ノ元位トシ之ヲ「フラン」ト
 名ケタルヲ以テ初トス當時ハ銀單本位ノ制ナ

リシカ千八百三年ニ至リ金一銀十五五ノ割合
 ヲ以テ金銀兩本位ノ制ニ法トリシヨリ今ニ至
 ルマテ八十五年間此法ヲ繼續セリ
 千八百六十五年佛以白瑞ノ四國聯合約束シ佛
 國貨幣ノ制度ニ由リ互ニ貨幣ヲ一様ニナセリ
 是レ所謂拉丁聯合ナルモノ、濫賜ナリ此聯合
 ハ爾來滿期ニ至テ繼續セラレ、一茲ニ四回ニ
 シテ最後ノ締盟ニヨレハ少クモ千八百九十一
 年マテ之ヲ繼續スヘント云ヘリ蓋シ拉丁聯合
 ノ貨幣元位ハ「フラン」ニシテ九百位金一「キロ」ヲ
 以テ三千百法又九百位銀一「キロ」ヲ以テ二百法
 ノ貨幣トナスノ割合ナリ其種類ハ金貨幣ハ百

フランシ以下五種銀貨幣ハ五フラン以下五種ア
 リ但銀五フラン貨幣ハ本位貨幣ニシテ其他ハ
 補助貨幣トス即チ其品位ハ千分中八百三十五
 ナリ而シテ補助銀貨流通制限ハ五十法青銅貨
 ハ五法以下トス
 白耳義國貨幣制度タル千八百三十年初メテ佛
 國ノ貨幣制度ヲ採用シ金銀兩本位ノ貨幣并ニ
 銅貨ヲ鑄造セシカ爾後屢々貨幣制度ヲ變更シ
 千八百三十二年金貨ノ量目ヲ減殺シ千八百五
 十年ニハ和蘭ニ倣ヒ金貨ヲ廢シ改メテ銀本位
 トナシ六十一年再ヒ佛蘭西ノ兩本位ニ復シ遂
 ニ千八百六十五年ニ至リ拉丁貨幣聯合ノ盟約

成リ制度大ニ鞏固トナレリ即貨幣ノ元位ハ「フ
 ラン」ニシテ金銀貨幣ハ聯合ノモノニ同シ別ニ
 白銅及青銅貨幣アリ補助銀貨流通制限ハ五十
 法白銅貨ハ五法青銅貨ハ二法ナリ
 以太利國貨幣制度ハ數年前迄ハ凡テ五種アリ
 ナブル及シシリ通貨ハ百「グラニ」ノ「ツカト」トス
 カニ「通」通貨ハ百「チエ」ンテシ「ミ」ノ「リ」ラ、トスカナ
 ロム「バ」ード通貨ハ百「チエ」ンテシ「ミ」ノ「リ」ラ、ア
 ト「リ」シ「羅」馬法王領地通貨ハ百「バ」コキ又十「バ」オ
 リ「ノ」ス「キ」ユ「ド」サル「ヂ」ニ「ヤ」通貨ハ百「チエ」ンテシ「
 ノ」リ「ラ」而シテ此「ノ」サル「ヂ」ニ「ヤ」通貨ハ即チ佛蘭
 西法則ニ據ルモノニシテ「リ」ラハ則チ「フ」ランニ

當レリ以國王政一統ノ後千八百六十二年八月
 廿四日ノ條例ヲ以テ佛國ノ制度ニ等シヤ百チ
 エンテシミノ「リラ」ヲ以テ貨幣元位ト定メ而シ
 テ他ノ制度ハ一切之ヲ廢止セリ千八百六十五
 年拉丁聯合ノ盟約ニ入リシヨリ以テ今ニ至ル
 マテ金銀貨ハ勿論青銅貨モ亦佛國ト同種類ナ
 リ其流通拂渡制限モ亦佛國ニ同シ
 澳地利國ハ古來銀ヲ以テ本位貨幣トナシ金貨
 ハ單ニ貿易貨トシテ鑄造ス千八百六十七年及
 千八百七十年ノ貨幣條例ニ於テ本位貨幣ハ銀
 貨ニシテ「フロリン」又ハ「グルデン」ト稱ス「グルデ
 ン」ヲ百分シ「クロイツル」ト稱ス銀貨「グルデン」ハ

品位千分中九百ナリ補助銀貨ノ品位貳拾五「ク
 ロイツル」ハ五百二十貳拾「クロイツル」ハ五百「拾
 クロイツル」ハ四百五「クロイツル」ハ三百五拾ニ
 シテ貨幣ノ大小ニヨリ異同アリ其他銅貨ハ四
 「クロイツル」一「クロイツル」ノ三種アリ流通制限
 ハ補助銀貨ハ二「フロリン」以下銅貨ハ五十「ク
 ロイツル」以下トス
 千八百五十七年獨逸諸邦ト同盟シ内國貨幣ノ
 外ニ聯合貨幣ヲ作り互ニ流通ヲ許セリ其貨幣
 ハ銀貨ニハ二「ターレ」及壹「ターレ」ノ二種ア
 リ純銀五百「グラム」ヲ以テ三十「ターレ」ヲ作リ
 又金貨ニハ「クロー子」及半「クロー子」ノ二種アリ

純金五百「グラム」ヲ以テ五十「クロー」子ヲ作ルノ
 割合ニ依リ鑄造發行セシカ千八百七十年ニ至
 リ獨逸聯邦ト同盟ヲ解キ此貨幣ヲ廢止シ更ニ
 品位量目共佛國ノ二十法十法ニ相當スル金貨
 ヲ鑄造ス八「フロリン」貨四「フロリン」貨是レナリ
 而シテ澳國ハ近年ニ至ルマテ不換紙幣ノ制度
 ナルニヨリ當今尙ホ本位銀貨ノ流通ハ甚々僅
 少ニシテ紙幣ノ流通多キヲ占ム
 獨逸國貨幣制度ハ聯邦概子銀貨ヲ以テ本位ト
 シ而シテ又各共制度ヲ異ニシ紛雜甚シキヲ以
 テ千八百五十七年一月廿四日澳地利帝國ト相
 約シ貨幣條約ヲ結ヒ貨制ノ要點ヲ定メタルニ

依リ稍改良ノ途ニ就ク夫ヨリ普佛戰爭ノ後獨
 逸帝國ノ政ヲ建ルニ速ンテ銀本位ヲ廢シ金本
 位トナシ大ニ貨幣ノ制度ヲ改メ純金壹「プント」
 ヲ以テ拾「マーク」貨百三拾九枚半ヲ作り壹「マ」
 クヲ百分シ「ペン」ニク「ト」ナシ銀、白銅、青銅ヲ以テ
 補助貨トナス金銀トモ品位ハ九百位トナシ純
 銀壹「プント」ヲ以テ百「マ」ク以下白銅及青銅貨ハ一
 「マ」ク以下ナリ
 露西亞國ハ彼得大帝ノ時初メテ自國ノ貨幣制
 度ヲ立テ「ルーブル」銀貨ヲ以テ貨幣ノ元位トナ
 シ之レヲ百分シテ「コペイ」クト稱ス而シテ金貨

ハ互額ノ鑄造ヲナスト雖モ單ニ外國貿易ノ用
 ニ供スルノミナリ爾後數回ノ改正ヲ經テ千八
 百五十年ノ貨幣條例ニハ元位銀貨ノ品位ヲ
 九十六中ノ八十三ト三分一金貨幣ノ品位ヲ九
 十六中ノ八十八トナシ且ツ銀貨純分ノ金貨純
 分ニ相對スル割合ヲ十五ト一ノ比例トナセリ
 然ルニ新條例ニ於テ金銀貨共品位ハ千分中九
 百補助銀貨ハ千分中五百トシ五「ル」ブル「金貨
 ハ品位量目共ニ拉丁聯合ノ二十法金貨同一ノ
 モノニ改正セリ而シテ銀貨「ル」ブルハ依然貨
 幣ノ元位ニシテ其含有ノ純銀ニ於テモ舊制ニ
 異ナル所ナシト雖モ其他舊條例ニ掲擧セサル

品位ノ公差ヲ設ケ而シテ該條例ハ千八百八十
 六年一月ヨリ實施セラレタリ(但現今露國ノ紙幣通
 對ニシテ銀貨四割ハ紙幣ニ對シ)即今條例ニ載スル所ニ據
 レハ金貨ニ十「ル」ブル五「ル」ブルノ二種アリ
 乃チ貿易貨幣ナリ銀貨ハ一「ル」ブル五十「コペ
 イ」ク二十五「コペイ」クノ三種ヲ本位貨幣トナシ
 流通制限ヲ設ケス二十五「コペイ」クノ四
 種ヲ補助銀貨トナシ其流通制限ハ三「ル」ブル
 以下ニ限ルモノトス銅貨ハ五、三、二、一分、四
 分一「コペイ」クノ六種ニシテ流通制限ハ補助銀
 ニ同シ蓋シ歐米大國中貨幣制度ヲ改正セシハ
 露西亞ヲ以テ最近トス

○造幣局組織

英吉利國造幣局ハ單純ノ官掌工場ニシテ大
 藏省ノ所管タリ局中ヲ本局總務工事試金ノ一
 局三部ニ分チ造幣局長ハ大藏大臣ノ兼任ト定
 メ本局ニハ現ニ副長ヲ置キ諸般ノ事務ヲ掌理
 ス但副長以下官吏ノ任命ハ大藏省ニ於テ執行
 ス
 書記長ハ總務部ニ在リテ本局ノ庶務及ヒ地金
 ノ出納貨幣拂渡等ノ事務ヲ管掌ス
 試金官ハ試金部ニアリテ貨幣鑄造地金ノ及
 ビ貨幣ノ試験ヲ管掌ス
 工部部長ハ鑄造場及ヒ機械製作所極印製作所

等各工場一切ノ管理ヲ爲ス
 合衆國造幣事務局ハ大藏省ニ屬シ國內各造
 幣局各試金局等都テ官掌工場タリ事務局ニ總
 裁検査官計算方試金官書記試金官助手等ヲ置
 ク總裁ハ大藏卿ニ直隸シ大統領之ヲ任命ス以
 下ハ大藏卿ノ認可ヲ得總裁ノ任命スル所タリ
 總裁ハ各造幣局及試金局ヲ管理シ検査官試金
 官ハ各分課ヲ擔任ス
 各造幣局ニハ局長鑄解精製部長試金官極印部
 長彫刻部長(ニ費置府ク)ヲ置キ事務ヲ分掌ス共ニ
 大藏卿ノ具狀ニヨリ大統領任命シ其他ハ造幣
 事務局總裁ノ認可ヲ得テ局長任命ス

各試金局ニハ長一名試金官書記會計等ノ諸官
 ヲ置キ事務ヲ分掌ス其任命等造幣局ニ同シ
 佛蘭西國造幣局ハ官掌工場ニシテ大藏省ニ
 隸屬シ局内ニ兌換試金工事彫刻機械賞牌販賣
 監督ノ七科ヲ置ク局長ハ局中一切ノ事務ヲ總
 理シ書記長命ヲ受テ之ニ從事ス次長ハ工業ノ
 監督ニ任レ工事科長ハ一切貨幣賞牌ノ工業ヲ
 指揮シ試金長ハ試金ノ事ヲ指揮ス出納官ハ地
 金及ヒ貨幣ノ出納ヲ掌リ陳列所掛ハ局内設ク
 ル所ノ賞牌貨幣陳列所ヲ管守シ検査官補ハ工
 場各所ノ地金計算ノ事ヲ分任ス而シテ局長次
 長試金官長ハ大統領任命シ書記長工事長検査

官出納官試金照査官彫刻官機械官陳列所掛等
 ノ八官ハ大藏卿之ヲ任命シ其他ハ局長之ヲ命
 ス
 白耳義國造幣局ハ大藏省ニ屬シ局中ニ試金
 検査彫刻製造ノ四部ヲ置キ局長試金官長検査
 官彫刻部長製造部長検査官補及ヒ書記官ハ國
 王任命シ其他ノ官ハ局長ニ諮詢シ大藏大臣之
 ヲ任命ス
 當國ハ受負法ヲ循用スルヲ以テ製造部長ノ任
 命ハ國王ニ出ツト雖モ其ノ性質ニ至リテハ單
 純ナル受負人ニシテ政府ト年期ヲ定メ締約シ
 成規ノ鑄造料ヲ受ク工場及ヒ器械類ハ官給ニ

シテ其内消耗ニ屬スル物品及ヒ小秤量器等ノ
 如キハ自辨トス而シテツノ使役スル所ノ役員
 技術師及ヒ職工等悉皆製造部長ノ雇人タリ故
 ニ局長以下ノ職制ノ如キモ他國造幣局ト自カ
 ラ小異同アリ
 以太利國羅馬美蘭各造幣局ハ官掌工場ニシ
 テ共ニ大藏省ニ隸屬ス局中ヲ分ツテ本局及ヒ
 計算出納彫刻試金鑄造物品機械精製(美カ)ハ
 貨幣陳列ノ諸科トシ局長ハ羅馬美蘭各一名ヲ
 置キ局内一切ノ事務ヲ指揮ス書記官ハ旨ヲ受
 テ文書往復ノ事ヲ掌リ出納官ハ地金買上貨幣
 拂渡等ノ事ヲ掌リ検査官ハ各科地金貨幣出納

ヲ照査シ鑄造長ハ鑄解伸延打拔洗滌極印ノ事
 ヲ指揮シ彫刻官ハ貨幣及賞牌極印ノ製造ヲ掌
 リ試金官ハ地金貨幣品位試験ノ事ヲ掌ル鑄造
 長以上ハ國王任命シ其他ノ官ハ大藏大臣之ヲ
 任命ス
 羅馬美蘭造幣局ハ各獨立ニシテ互ニ關係ヲ有
 セス大藏省總務局中ニ造幣事務管理掛ヲ置キ
 兩局ノ事ヲ管掌ス
 澳地利國造幣局ハ官掌工場ニシテ大藏省ニ
 隸屬シ局長次長ハ皇帝任命シ以下ハ大藏大臣
 之ヲ任命ス
 局内ノ事務ハ局長デレクトル之ヲ總管シ總務部ハ庶務ヲ

掌リ買上部ハ金銀混合地金ヲ請取リ買入ヲ爲
 シ精製部ハ混合地金ノ精製ヲナシ鑄造部ハ鎔
 解ヨリ極印ニ至ル迄ノ各種造幣ノ工業ヲ掌リ
 會計部ハ地金代金拂渡其他金錢出納ヲ掌リ彫
 刻部ハ貨幣賞牌ノ極印及金銀器物検査極印ノ
 彫刻ヲ掌ル別ニ試験室アリ造幣局次長之ヲ管
 理シ買上精製鑄造三部ノ試験方此ニ集マリテ
 各其本務ニ従事ス
 獨逸國柏林造幣局ハ普魯西王國ニ屬スル造
 幣局ニシテ普國大藏大臣ノ管理ニ屬シ古來官
 掌工場タリ局中ヲ本局及ヒ工業試験會計ノ三
 部ニ分チ事務ヲ分掌ス局長ハ國王ノ任命スル

所ニシテ其他ノ官吏ハ皆大藏大臣ノ命スルモ
 ノナリ
 局長以下ノ職制ニ至リテハ英佛其他ト大同小
 異ナルヲ以テ茲ニ略ス
 露西亞國造幣局ハ大藏省ノ所管ニシテ局長
 ハ大藏大臣ニ隸屬シ皇帝任命ノ官ナリ次長精
 製部長鑄造部長賞牌部長及會計部長ハ大藏大
 臣任命シ其他ノ官吏ハ局長之レヲ任命ス
 局内ニ精製鑄造賞牌會計ノ四部ヲ置キ一切ノ
 事務ハ局長之ヲ總管シ緊要ノ件ハ次長及ヒ該
 四部長ヲ以テ組織シタル會議ニ於テ議定ス其
 審議スル重ナル事項ハ即チ毎年度工業ノ計畫

建築及ヒ修繕費豫算其他局長權限外ニアル支
出方案等ニシテ又物品及貨幣ノ月次及ヒ臨時
ノ報告等ヲ調査ス

○地金輸入順序

英吉利國金貨鑄造ハ自由鑄造ニシテ人民地
金ヲ造幣局ニ輸送スレハ無手数料ニテ之ヲ鑄
造シ若干日ノ後本位金壹「オンス」ニ付七十七志
拾片半ノ割合ヲ以テ拂渡ヲナスノ成規タリ然
レモ實際ハ英蘭銀行ノ此輸入ヲナシ人民ヨ
リ直ニ造幣局ニ輸入スルモノナシ其故ハ地金
ヲ銀行ニ賣却スレハ直ニ本位金壹「オンス」ニ付
七十七志九片ノ貨幣ヲ得ル故ニ寧ロ一片半ノ

差ヲ捐ルモ直ニ貨幣受取ノ便益アレハナリ
輸入人造幣局ニ金地金ヲ輸入スルハ之ニ先
ツ「二」日豫メ該局ニ報告ス而シテ金塊ハ每塊
二百「オンス」ヲ程度トシ英蘭銀行ノ認可シタル
試金師ノ試金證書并書式ニ各塊ノ番號品位及
ヒ試金師ノ名ヲ記シタル書面ニ通トヲ添付シ
テ輸入ス造幣局ニ於テハ之カ試験鑄解ヲ施サ
スシテ單ニ照査試験ヲナシ本局ノ試験品位ヲ
以テ價格ヲ計算シ了レハ證書ヲ製シテ地金輸
入主即チ銀行ニ付シ漸次貨幣鑄造ヲ竣テ拂渡
ヲ爲ス一定ノ拂期日ナシ

銀貨鑄造元金地金買收ハ英蘭銀行及ヒ殖民地銀

行ニ於テ世ノ需用額ヲ考ヘ貨幣請求ノ手續ヲ
爲ス造幣局ニ於テハ其請求ニ應シ鑄造ニ着手
セシカタクメ地金商ニ報告シ地金買入ヲ爲サシ
メ之ニ若干ノ手数料ヲ付與ス品位試験等ハ金
地金請取ノ際ト同一ナリ
合衆國地金輸入ハ金地金及銀合金地金ハ價
格百ドルラル以上ハ受入ヲナス其含有銀分ニ
對スル價格ハ時々造幣事務局總裁ノ定ムル所
ニ據リ計算ス地金輸入ノ後數日ニシテ代リ貨
幣拂渡證書ヲ發シ拂渡ヲナス此資金ヲ地金資
金ト稱ヘ大藏省ヨリ貸與スル所ニ係ル而シテ
鑄造料ヲ輸入者ニ課セサルヲ以テ輸入者ニ於

テハ參和銅一「オンス」ヲ要スル毎ニ二「セント」ヲ
拂ハサル可カラス
佛蘭西國人民金塊ヲ輸入シ金貨鑄造ヲ請求
スルヲ得ルノ造幣規則アリ然レモ實際ニ於テ
地金輸送ヲ爲スハ唯佛蘭西銀行アルノミ而シ
テ輸入ノ金塊ハ品位千分ノ九百九十四以上量
目凡ソ六「キログラム」以上ノモノニ限リ添ルニ
公認試金師ノ試験印ヲ以テセサル可ラス金塊
ハ品位上記ノ數ニ及サルモノモ猶貨幣品位ノ
上ニアリテ造幣材ニ適當ナルハ亦之ヲ受入
ル局内精製所ノ設ナキヲ以テ金銀混合ノ地金
ハ之カ受入ヲナサス地金輸入ノ後二十四時間

内ニ品位ヲ檢定シ輸入人へ通知ノ上代リ貨幣
 拂渡證書ヲ製シ之ヲ交付ス此證書ハ裏書ヲ以
 テ人民讓渡ヲ許ルスモノニシテ拂渡期限ハ十
 日後ト定ム
 白耳義國地金輸入アル時ハ検査官立會ノ上
 製造部長受入ヲ爲シ各其帳簿ニ登記ス品位詳
 明ナラサル地金ハ製造部長ニ屬スル試金師ノ
 試験ニ依リ詳明ナル地金ハ輸入品位ニ據リ受
 入ルカ又ハ照査試金ヲ爲シ受取ルカハ總テ
 製造部長ノ見込ニ任ス而シテ若シ輸入品位ト
 製造部長ニ屬スル試金師ノ照査試験品位ト差
 違アリテ輸入人ト争ヲ生スル等ノ事アレハ本

局試金官照査決定ス
 以太利國人民金地金ヲ輸入シ金貨鑄造ヲ請
 求シ得レハ銀地金輸入ハ拉丁同盟ノ決議ニヨ
 リ千八百七十五年以來停止シ政府ニ於テ補助
 銀貨ヲ鑄造スルノミナリ混合地金精製ヨリ生
 スル銀分ハ時價ヲ以テ購收ス金地金輸入量目
 ハ百「グラム」以上混合地金ハ半「キロ」以上ナレハ
 出納官之ヲ領收シ成規ニ從ヒ貨幣ヲ鑄造シ又
 ハ銀分ヲ購收ス
 澳地利國人民金地金ヲ輸入シ金貨鑄造ヲ請
 求スルニハ輸入量目品位等ニ制限ナシ銀貨鑄
 造ハ千八百七十九年前ハ自由ナリシカ該年以

後ハ唯澳國內諸鑛山產出銀、澳國製諸器物銀地
 金、磨損貨幣「マリヤテレシヤ」貨幣等四種ノ銀地
 金ニ限リ本位銀貨鑄造ノ爲メ人民ノ輸入ヲ許
 セリ
 獨逸國金貨鑄造ハ自由鑄造ナルヲ以テ人民
 ヨリ各造幣局へ金地金ヲ受取り貳拾「マー」金
 貨ヲ鑄造スルヲ得純金壹「ブント」ニ付三「マー」ク
 ノ鑄造料ヲ收入シ其内貳拾五「ペン」ニクヲ帝國
 國庫ノ收入ト爲ス代リ貨幣拂渡期限ハ定則ナ
 シ只造幣局ノ都合ニ因リ拂渡ヲナス然レモ人
 民ニシテ金地金ヲ造幣局ニ輸入スル者ハ帝國銀
 行ヲ除クノ外曾テ無シ帝國政府ノ爲メニ貨幣

ヲ鑄造スル時ハ相當ノ鑄造料ヲ收入ス白銅及
 ヒ青銅貨幣鑄造ヲ爲ス時ハ圓形ヲ購入シ材料
 ト爲ス故ニ鎔解伸延ノ手續ヲ省ケリ
 露西亞國造幣局ニ人民ヨリ小許ノ金地金ヲ輸
 入シテ貨幣ヲ請求スルヲ得ヘキ造幣規則ア
 レモ實際輸入ノ金地金ハ重モニ國內諸鑛山產出
 地金ニ係ル此地金ニ對スル收稅ハ造幣局ニ於
 テ貨幣鑄造費ト共ニ取立ツルモノナルカ故大
 ニ造幣局ト諸鑛山トノ間ニ關係ヲ有ス依ツテ
 其ノ手續之續ヲ經タル後地方試金所ヨリ聖彼
 得堡ノ造幣局へ金地金ヲ護送シ來ル時ハ次長鑄
 造部長金地金出納掛ノ立會ニテ秤量シ夫々照査

試驗ノ後試金所ヨリ送付シ來ル勘定書ト照校
 シ差違アレハ之ヲ訂正ス爰ニ於テ輸入地金ハ
 工業地金トナルモノナリ
 銀銅補助貨幣ノ鑄造ヲ爲ス時ハ其地金ハ購入
 スルモノニシテ費用ハ別途豫算ニ據ル但シ銅
 貨ノ鑄造ヲナストハ已ニ圓形トナシタルモノ
 ヲ購入ス故ニ局内ニ於テハ唯々極印壓寫ヲナ
 スノミ
 ○經費豫算
 英吉利國造幣局ノ費用ハ毎年豫算書ヲ出シ
 國會ニ於テ議定スル所ニヨル而シテ造幣局ノ諸
 收入ハ悉ク國庫ヘ納ムヘキモノトス千八百八

十七年度ノ費用豫算金額ハ六萬九千八拾壹磅
 トス
 合衆國造幣事務局及諸造幣局試金局ノ費用
 ハ毎年豫算書ヲ出シ代議院及上議院ノ定ムル
 所ニ由ル諸收入ハ悉皆國庫ニ納付ス則チ千八
 百八十六會計年度ノ費用ヲ舉レハ造幣事務局
 ニ屬スル金額三萬四千九拾七弗八拾五仙ニ
 シテ諸造幣局及試金局ニ屬スル金額百六萬七
 千三百四拾五弗四仙ナリ
 佛蘭西國造幣局經費ハ毎年國會及ヒ元老院
 ニ於テ豫算ヲ議定シ而シテ各種ノ收入支出ヲ
 計算差引シ殘額ヲ國庫ニ收納ス則チ千八百八

十七會計年度(千八百七十九年九月一)豫算表ニ
 據レハ收入合計百六拾壹万九千六百法支出合
 計百五拾貳萬八千六百法ニシテ差引殘額九万
 一千法トス
 白耳義國 本局官吏ノ俸給及經費ハ議院議決
 國王裁定ノ豫算ニ依ル收入ハ悉皆大藏省ニ納
 付ス千八百八十六會計年度造幣局經費ハ官吏
 俸給支出額三万五千法雜費壹万貳千法ナリ
 以太利國 造幣局ノ經費ハ他ノ政府諸局ノ經
 費ト同ク毎年議定スル所ニ據ル而シテ政府ニ
 於テ地金ヲ購買スル時金銀ハ之ヲ市上ニ求メ
 銅ハ之ヲ政府ノ鑛業所ニ求ム

澳地利國 造幣局經費ハ毎年制定ノ豫算ニヨ
 リ收入金ヲ以テ支辨シ餘利アレハ國庫ニ納付
 ス千八百八十七會計年度ノ豫算ヲ舉レハ收入
 高參拾萬七千三百五拾五「フロリン」ニシテ差引貳萬千九
 百八拾「フロリン」ノ餘利トス
 獨逸國 造幣局ノ經濟ハ聯邦各其ノ途ヲ異ニ
 シ一々綜核ニ違アラサルヲ以テ茲ニ之ヲ缺ク
 露西亞國 造幣局ノ經費ハ毎年皇帝裁可ノ豫
 算ニ據ル而シテ收入金ハ悉皆國庫ニ納付スヘ
 キモノナリ但精製部及ヒ鑄造部ノ經費ハ精算
 ノ上豫算高ヨリ少ナキ時ハ餘利金額ノ一半ヲ

タル金貨幣ハ拉丁聯合條約ノ明文ニヨリ公差
 最低量ノ百分〇五ノ輕減ニ至ル迄ハ通用ヲ許
 ルシテ而シテ此制限ヲ超ヘ輕量ニ及ヒタルモノ
 ハ佛蘭西銀行ニ於テ受入ルニ從テ漸次之ヲ貯
 藏シ蓄積スルニ及テ之ヲ改鑄ニ付ス其輕量ヨ
 リ生スル所ノ損失及ヒ改鑄費ハ政府ノ負擔ニ
 シテ輕量貨幣所持人ハ敢テ之カ損失ヲ負ハサ
 ルナリ
 白耳義并以太利國 磨損貨幣ヲ流通上ヨリ引
 上ルノ條例ナシ其減量ニ係ルモノハ所有者ノ
 損失ニ歸ス但補助銀貨幣ニシテ流通ノ爲メ磨
 減セルモノハ政府ノ負擔トナシ改鑄ス

澳地利國 輕量貨幣或ハ磨損貨幣ヲ國庫ニ收
 納スルハ造幣局ニ於テ改鑄ニ付ス其費用ハ
 國庫ノ負擔トス
 獨逸國 金貨幣流通上量目ノ磨損シテ制限分千
五ノ外ニ下リタルモノ及ヒ銀貨幣其他ノ模樣著
 シク磨滅セルモノハ聯邦各國國庫ニ於テ貨幣
 面ノ價格ヲ以テ領收ス而シテ改鑄ノ諸費用ハ
 帝國國庫ノ負擔スル所ナリ然レモ新貨幣流通
 ノ日淺キヲ以テ改鑄ヲ要スルモノモ亦僅少ナ
 リトス
 露西亞國 流通ノ爲メ漸次磨滅シテ貨幣條例
 ニ定メタル制限ニ下ルノ金貨幣ハ其減量ニ應

シテ一「ド」リ毎ニ金貨三「コペーク」半ノ打金ヲ
 以テ受入レ改鑄ス
 ○貨幣大試験
 英吉利國 毎歲三月初旬供試貨幣ノ試験ヲ金
 匠工組合會所ニ於テ施行ス委員若干名ヲ金匠
 工ノ内ヨリ選定シテ之レニ充ツ該委員ハ皇帝
 レメンブランサー一名官ノ前ニ誓詞ス試験施行ニ
 當リテハ造幣局副長工事部長試金官共ニ立會
 ヲ爲スモノナリ
 合衆國 毎年貨幣試験ハ二月第二水曜日ヲ以
 テ費府造幣局ニ於テ施行ス會合ノ委員ハ大統
 領ノ任命スルベンシルバニヤ東部地方裁判所

法官會計検査官紐育試金局試金官等ナリ
 佛蘭西國 造幣局ニテ發行ノ貨幣ハ工事部ヨ
 リ兌換科へ貨幣發行ノ都度若干ノ供試貨幣ヲ
 取リ試金科ニ於テ之ヲ試験セシメ局長ハ試金
 官長ノ報告ニ依リ該貨幣發行ヲ許可ス而シテ
 供試貨幣ノ内幾分ヲ保存シ置キ毎年ノ終末ニ
 於テ之ヲ貨幣通^{フンクンフ}用監督委員ノ試験ニ供ス該委
 員ハ元老院ヨリ一名代議院ヨリ一名内閣ヨリ
 一名會計検査院ヨリ一名佛蘭西銀行役員會ヨ
 リ一名學士會院ヨリ二名及巴里商法會議所ヨ
 リ二名都合九名ヲ以テ成立スル所ニシテ其執
 務期限ヲ三ケ年トシ毎三ケ年ニ改選ス而シテ

其職務ハ毎年發行ノ貨幣ノ外現今流通上ニア
ル貨幣ノ内ヨリ若干ヲ取リ來リ同時ニ之ヲ檢
査ス其報告書ハ大統領ニ奉呈スルモノニシテ
印刷ノ上元老院及ヒ代議院ニ配布ス
澳地利國一工業毎ニ鑄棒前汲取試驗片ヲ採
取シ又鑄棒ノ上試驗片ヲ截取シ極印濟貨幣ト
共ニ各試驗ヲナシ又不全貨幣ヲ鑄解シ平均試
驗ヲナシ共ニ大藏大臣ニ報告ス
大藏省ニ屬スル中央試驗局ニ於テモ鑄造毎ニ
供試貨幣ノ品位量目ヲ照査シ適否ノ見込ヲ付
シ大藏大臣ニ報告ス適正ナレハ大藏大臣始テ
發行許可ヲ與フ

右ノ如ク日々ノ工業ニ於テ精密ノ試驗ヲナス
ヲ以テ一周年ノ大試驗ヲナサス單ニ一ケ年ノ
平均書ヲ作り大藏大臣ニ報告ヲナスノミ
獨逸國一周年大試驗ノ事ナシ帝國總理大臣
ハ不時ニ委員ヲ命シ各州造幣局ヲ巡回檢閱セ
シムルヲ得此委員ハ各造幣局長ニ命シ交互巡
閱セシムルヲ例トス尤モ稀ニ施行セリト云フ
露西亞國造幣局次長ハ會計ニ關スル一切ノ
事務ヲ管理シ貨幣每袋量目ノ正否ニ關シ其責
ヲ有ス而シテ定規貨幣試驗ノ事ヲナサス

朕造幣局官制ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ

御名 御璽

明治二十年十二月二十一日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文
大藏大臣伯爵松方正義

勅令第六十號

造幣局官制

第一條 造幣局ハ大藏大臣ノ管理ニ屬シ貨幣
鑄造及賞牌製造ノ事ヲ掌ル
第二條 造幣局ニ職員ヲ置クコト左ノ如シ
局長

局次長
技術官
屬

第三條 局長ハ一人奏任一等二等トス大藏大臣ノ指揮監督ヲ承ケ局中全部ノ事ヲ掌理ス

第四條 局次長ハ一人奏任トシ現任局長ノ次等以下トス局長ノ事務ヲ佐ク

第五條 技術官ハ局長ノ指揮監督ヲ承ケ工事ヲ分掌ス

第六條 屬ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ書記計算簿記ニ従事ス

第七條 造幣局ニ總務部會計部鑄造部試金所

精製所ヲ置ク

第八條 總務部ハ内外ノ諸公文書類諸報告ノ取扱監察ノ事務職員ノ取扱及諸雜件調理ノ事ヲ掌ル

第九條 會計部ハ各地金及成貨ノ出納計算營業費ノ豫算決算及其出納各工場諸官舎等所屬建物ノ營繕ニ關スル事務ヲ掌ル

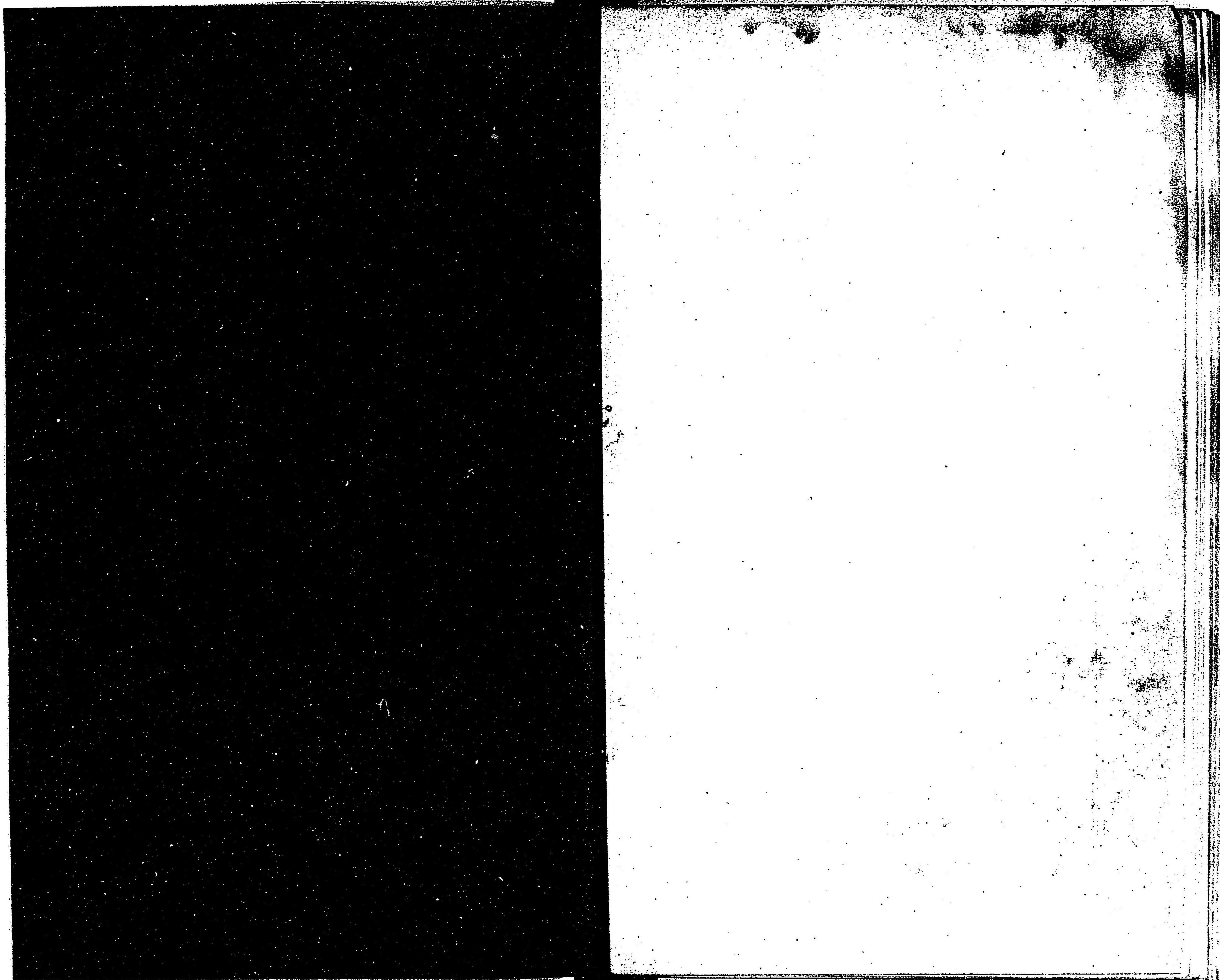
第十條 鑄造部ハ貨幣ノ鑄造極印ノ彫刻鐵工銅工等ノ工事ヲ掌ル

第十一條 試金所ハ地金及貨幣ノ品位ヲ試驗スルノ工事ヲ掌ル

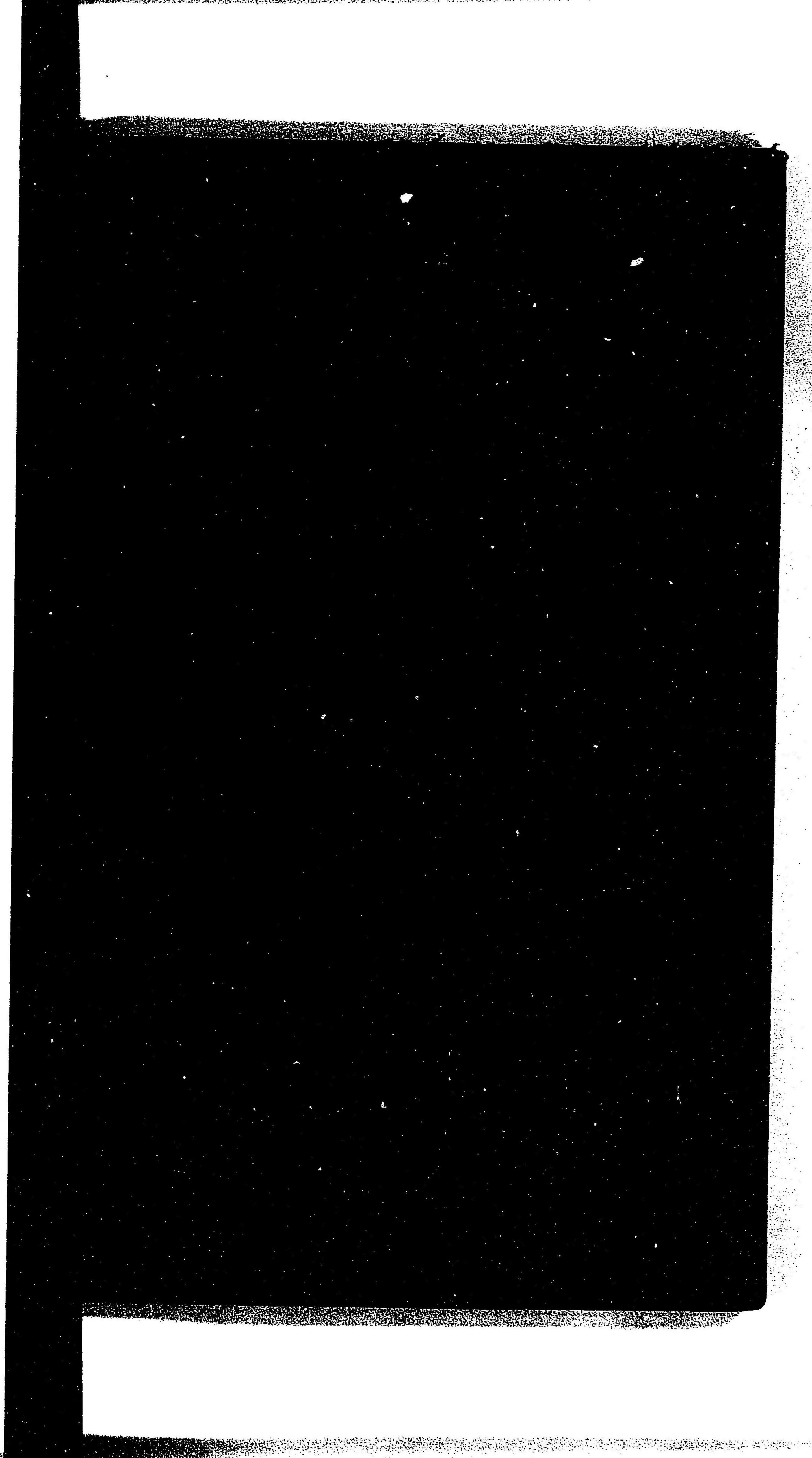
第十二條 精製所ハ金銀ヲ精製スルノ工事ヲ

第十三條 大藏省構内ニ造幣局東京出張所ヲ
 置キ各地金ノ受入及代リ貨幣拂渡ノ手續ヲ
 分掌ヒシム

前年度報告書第五葉二行目差引六萬四千貳百
 貳拾八〇〇〇分
 拾萬參千七百拾六〇〇分
 一〇分
 一行目差引八百參萬九千七百八拾九〇分
 六分
 何レモ誤ナリ
 正誤



8
107



107

(M)

